

エクストリームシリーズ 2015 尾瀬街道伊南大会

尾瀬街道伊南大会 2名カテゴリー 優勝チームコメント

山岳同人ランブルフィッシュ 畦崎 洋平さん

レースの経緯

学生時代に山岳部として活動していた3人ですが、以前からアドベンチャーレースに興味を持っていました。学生時代は部活動があったのもとより、社会人になってからも、新生活や結婚などで、アドベンチャーレースのことは忘れ去られていました。

そんな中、昨年メンバーの清水からアドベンチャーレース参加の声がかかり、ARJSの白川郷でのレースに1度参加することになりました。男3人で、オープン参加になってしまったのですが、初参加で点数は1番を取ることができ、手応えを感じたとともに、アドベンチャーレースの楽しさを実感しました。BSのグレートレースなどでモチベーションも上がり、今年はエクストリームにシーズン参加して上位を目指そうと、学生時代の仲間3人で、再びチームを結成しました。

感想

第1戦が2位、第2戦が4位と、上位ながらも悔しい思いをしました。メンバーの清水が仕事で欠場となってしまいましたが、残りの2人でなんとしてでも優勝してやろうと気合十分で臨みました。

もとより、地図読みは慣れており、さらに今回はトレッキングの高低差がかなりある、我々山岳部出身にはもってこいのルート！カヤックが初心者なので、毎回それが足を引っ張っていたのも事実です(笑)

パワールートながらも、持ち前の脚力と体力、そして、前回以降各々がトレランと自転車トレーニングに励んだ結果、初めからトップを走り、念願の優勝に期待が高まっていました。それと同時に、前回、前々回で起こしてた小さなミスも許されないという緊張感もありました。

そして、念願の優勝！カヤックリレーがないコースで2名がそれほど有利なところがない中で勝てたのはとても嬉しく、欠場したもう一人ともこの喜びを分かち合いたかったです。

初シーズンですが、やっとレースに慣れてきた感じです。

次の最終戦に向けて、またトレーニングを積み、1番にゴールできるようにしたいです！

尾瀬街道伊南大会 3名カテゴリー 優勝チームコメント

とれいるざんまい 長谷川 貴子さん

MTB、トレランの経験はありましたが、地図読みができず、チームメイトも探せなかったこともあって、アドベンチャーレースに興味はあったものの、エントリーすることができないでいたのですが、ひょんなきっかけから、今回組ませていただいた久保田様と知り合うことができました、初参戦の年なのに、常勝チームに混ぜていただくこととなりました。

初参加で、無我夢中だった那珂川大会について、二戦目の伊那大会には、アドベンチャーレースの勝手が少しはわかるから...と、MTBを担ぎ仕様にしたり、地図を落としたりしないようにしたり、自分なりに工夫して望んだのですが、今回は担ぎもなかったし、地図読みに要素もほとんどないという...笑。

ひたすら走るパワーレースだったのですが、レースのしょっぱなから熱中症になってしまって、速く走れずに久保田さんも杉山さんには大変迷惑をかけてしまいました。

私が調子悪いのをみてとって、お二人で私の荷物をもって来て、終始おしてくれて、励ましてくださって...

お二人のサポートがなければ、絶対完走できなかったと思います。

これが、チーム戦であるアドベンチャーレースの醍醐味の一つかもしれませんね。

チーム内の助け合いもそうだし、レース中に他のチームの人たちとも、励ましあったり、時には協力しあったりするの、アドベンチャーレースならではのものだと思います。

こんなに楽しい遊びがあったなんて...

アドベンチャーレース、また参加したいです。